

DIAMOND[®]

取扱説明書

タイルコアドリル

目次

CD-40T


安全上のご注意	1
	6
本製品使用上のご注意	8
	8
用途	9
	9
各部の名称	10
	10
仕様	11
	11
作業前点検	12
	12
ご使用方法	15
	15
点検・保守	


ご使用前に必ずお読みください


- このたびは株式会社 IKK タイルコアドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。

警告 注意 の区分について

ご使用上の注意事項は「警告」「注意」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** 誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性のある場合

 **注意** 誤った使用方法をした場合、作業者が障害を負う人身事故につながる恐れのある場合および、機械の破損・故障が発生する恐れのある場合

なお、「 注意」と記載された事項であっても、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ずお守りください。

安全上のご注意

- ・火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために安全上のご注意は必ず守ってください。
- ・ご使用前に安全上のご注意をすべて良く読み、理解したうえで正しくご使用ください。
- ・お読みになった後はお使いになられる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

警 告

*誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

- ◆この製品は、本取扱説明書で説明されている以外の用途には絶対にお使いにならないでください。
- ◆使用者以外近づけないでください。
 - ・機械の使用者を特定し、取扱指導を受けてからお使いください。
 - ・使用者以外の方が電動工具やコードに触れないようにしてください。
- ◆作業台・作業場所はいつもきれいに保ってください。
 - ・散らかった場所は事故の原因となります。
- ◆保護メガネ・ヘルメット・ゴム底の安全靴をはいてください。
 - ・ほこりが多く出る場合は防塵マスクと集塵機(集塵装置)を併用してください。
- ◆安定した場所・安定した姿勢で使用してください。
 - ・無理な姿勢で作業せず、足元をしっかりとらせてバランスを保ってください。

◆感電に注意してください。

- ・湿気はモーターの絶縁性を低下させ、感電事故の元になります。
- ・雨中や機械内部に水や油の入りやすい場所などでは使用しないでください。
- ・漏電遮断機を通した電源をご使用ください。二重絶縁品を除き必ず正しい接地（アース）を行ってください。
- ・電動工具を使用中、体をアースされているもの(パイプ・暖房器具・電子レンジ・冷蔵庫などの外枠など)に触れさせないでください。

◆きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服・ネックレスなどの装身具・ネクタイ・袖口の開いたもの、首に巻いたタオルや編手袋などは機械の回転部に巻き込まれる恐れがあります。

◆引火・爆発にご注意ください。

- ・電動工具は使用中やスイッチの開閉時に整流火花を発生します。ラッカー・ペイント・ベンジン・シンナー・ガソリン・ガス・接着剤などの引火や爆発の恐れがある場所での使用は危険ですので絶対に使用しないでください。
- ・密閉された部屋、坑内などの換気の悪いところでの使用も避けてください。

◆コードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜いたりしないでください。
- ・コードが高温の熱、油や薬品、刃物などとがったものに触れないように注意してください。

◆次の場合は電動工具のスイッチを切り、差し込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・使用しない時、点検・整備・修理をする場合
- ・刃物類・消耗品・付属品の交換や掃除・点検・停電などの場合
- ・電動工具を移動させる場合や、使用者がその場から離れる場合

◆スパナやレンチなどは必ず取り外してください。

- ・電源を入れる前に、使用した工具類が取り外してあることを確認してください。

◆不意な始動にご注意ください。

- ・電源につないだ状態やスイッチに指をかけた状態で機械を動かさないでください。スイッチに指をかけていなくても移動中にスイッチが他の場所に引っかかって作動する場合があります。
- ・差し込みプラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

◆十分に注意して油断せずに作業を行ってください。

- ・安全に作業するために、無理な操作、能力以上の作業はしないでください。
- ・作業をする際は取扱方法、周りの状況などに常識を働かせ、十分に注意して作業を行ってください。
- ・高所での作業時には下に人がいないかもよく確かめてください。
- ・疲れている時、注意力が散漫な時は使用しないでください。
- ・差し込みプラグを差したままや、機械の電源を入れたままその場を離れないでください。
- ・使用中は刃物類や回転部分、切りくずに触れたり体の各部を近づけないでください。

◆損傷した部品がないかを使用前に点検してください。

- ・使用前にコードや保護部分に損傷がないかを十分点検し、正常に動作するか、所定の機能を発揮するかを確認してください。
- ・電源コンセントに差し込んだ時、ガタガタだったり、すぐ抜ける場合は使用を中止し、修理へ出してください。加熱して故障の原因となります。
- ・刃物および工具類は指定された純正部品を使用してください。また、刃物においては新品または新品同様に破損、欠陥のないものを使用してください。
- ・使用中に異常を感じたら直ちに使用をやめ、点検・修理を行ってください。

◆指定の純正部品をお使いください。

- ・当取扱説明書および弊社カタログなどに記載されている以外の付属品や消耗部品は事故やけがの原因になる恐れがありますので使用しないでください。

◆電動工具の修理は専門店で依頼してください。

- ・修理の際はご購入求めの販売店または株式会社 IKK にお申し付けください。
- ・ご自分で修理されると、事故やけがの原因になります。

注 意

*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

◆最大能力を超えた作業や急激な操作はしないでください。

- ・仕様欄にある本機の最大能力を確認してください。
- ・能力を超えた使用は機械の故障を招くだけでなく、大変危険です。
- ・急激な作業は機械の損傷や事故につながります。

◆電動工具は大切に取り扱いってください。

- ・誤って落としたり、ぶついたりしますと外枠が変形したり、破損する場合があります。そのような時は必ず使用前に十分な点検を行ってください。

◆電動工具は次のような場所に保管してください。

- ・お子様の手が届かないところ、または錠のかかる不安定でない所
- ・温度や湿度の急変しない所
- ・直射日光や雨の当たらない、湿気のない、乾いた所
- ・引火または爆発の恐れがある揮発性物質の置いていない所

◆本体の風窓はふさがらないでください。

- ・電動工具にある溝や風窓は電動工具の性能を発揮するうえで重要な働きをする部分です。ふさいだり、泥などが詰まったりしないようご注意ください。

◆指定以外の電圧で使用しないでください。

- ・十分な力を発揮できなかつたり、モーターが焼けるなど事故の原因となります。
- ・直流電流ではお使いにならないでください。
- ・指定電圧(100V)の上下10%以内でご使用ください。

◆延長コードの使用時は電圧低下にご注意ください。

- ・延長コードなどを用いた場合に、指定以上に電圧降下するときは、途中でパワーブスターを接続し、100Vにて使用してください。
- ・電源が離れていて、延長コードが必要な時は十分な太さのコードをできるだけ短くしてご使用ください。最高の能率で故障なくご使用いただくために、下記表にある使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを参照してください。

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
2. 0mm ²	10m
3. 5mm ²	20m

*コードに損傷がある場合には、修理に出してください。

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令および各都道府県などの条例で定める規則があります。周囲に迷惑をかけないように各条例で定める騒音規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

回 二重絶縁について

電流の流れる導体部分と人の触れる外枠部が、別の絶縁物で二重に絶縁された構造をもつ電動工具で、この製品には“回”マークを表示しております。二重絶縁モーターは、一つの絶縁部分が壊れても、もう一つの絶縁で保護されており、感電に対する安全性が高くなっております。ただし、壊れた状態で使用したり異なった部品と交換した場合、二重絶縁構造が損なわれ感電事故を招く恐れがありますので、お買い求めの販売店または株式会社IKKへ修理に出してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具としての一般的注意事項を述べましたが、これからご使用いただくコアドリルについてはさらに次に述べる注意事項を守ってください。



警告

*誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

◆正しい用途で安全作業をしてください。

- ・本機はタイル、石、コンクリート、または同様の材料への穴あけを目的とした電動工具です。

この用途以外にはご使用できません。

◆水や湿気にご注意ください。

- ・モーター、コードや電子部品に水をかけたり、濡らしたりしますと、感電事故の元になり、危険です。

◆安全の為に接地(アース)をしてください。

- ・本機は必ず、労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断装置が設置された電源で使用してください。
- ・定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電遮断装置の設置された電源で使用してください。

◆周囲の状況に細心の注意を払ってください。

- ・コアビットが壁や天井、床などの埋設配管やガス管などに触れますと感電やガス漏れにつながり非常に危険です。埋設物を事前に調査してください。
- ・床に穴をあける場合は、貫通時にコアがコアビット内より抜け落ちる事がありますので、階下の人や物に十分注意してください。
- ・垂直や上向き作業の場合には、万一の落下に備えた対策をとり、機械の下に入らないよう十分注意してください。

◆最大能力を超えた作業はしないでください。

- ・仕様欄にある本機の最大能力を超えた作業はしないでください。

◆使用中は工具本体を確実に固定(保持)してください。

- ・置いて使用する際は、水平で安定した場所に確実に固定してご使用ください。
- ・しっかり固定されているかを確認の上、使用してください。

◆使用中は刃物類や可動部分に触れたり手や顔などを近づけないでください。

◆保護メガネ・ヘルメット・ゴム底の安全靴をはいてください。

- ・ほこりが多く出る場合は防塵マスクと集塵機(集塵装置)を併用してください。

◆スイッチが入る状態でその場を離れないでください。

- ・差し込みプラグを電源に接続した状態で、その場を離れないでください。



注 意

*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

◆刃物(コアビット)やオプション品は正規の位置に確実に取りつけてください。

- ・指定された純正部品で、新品または新品同様の破損・欠陥の無いものを、指定された方法でとりつけてください。

◆摩耗・破損・変形している刃物(コアビット)は使用しないでください。

- ・摩耗や変形には常に注意し、異常があった場合は直ちに使用を止めて下さい。

◆スイッチを入れる前にコアビットを穿孔面に接触させないで下さい。

- ・コアビットや本体の破損につながり、大変危険です。

◆スイッチを入れた直後に穿孔面に接触させないで下さい。

- ・回転数が上がってから穿孔を開始してください。

- ◆コンクリート穿孔時はコアビットに水を流しながら使用してください。
 - ・コンクリート穿孔時、コアビットは水がないと焼きつきいたり、目詰まりを起こしますので、作業中に給水が止まった場合には、直ちに運転を中止してください。

- ◆穿孔時は強く押し付けたり震動させたりしないでください。
 - ・モーターに過負荷がかかったり、取り付けが緩むなどして危険です。

- ◆高所作業時は下に注意してください。
 - ・高所での作業時は、下に人がいないことを良く確かめて作業してください。

- ◆異常が起きたらすぐ、運転を中止してください。
 - ・機械の不調や異常に気がついた場合は、直ちに運転を止めてください。

- ◆穴あけ後はコアビット内の切りくずを取り除いてください。
 - ・水の回りが悪くなったり、故障や事故の原因となります。

- ◆作業終了後は水をしっかりと拭き取ってください。
 - ・故障や感電事故の原因となります。

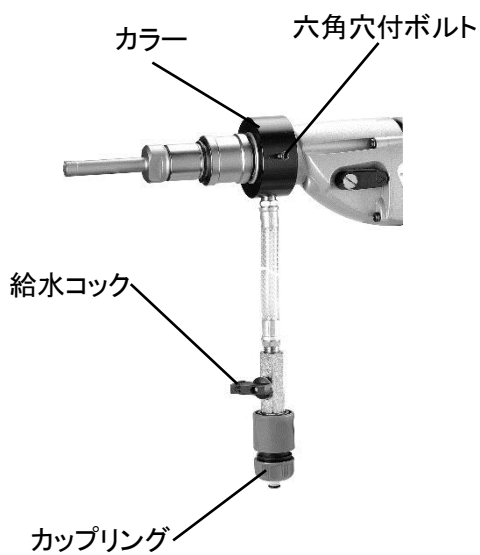
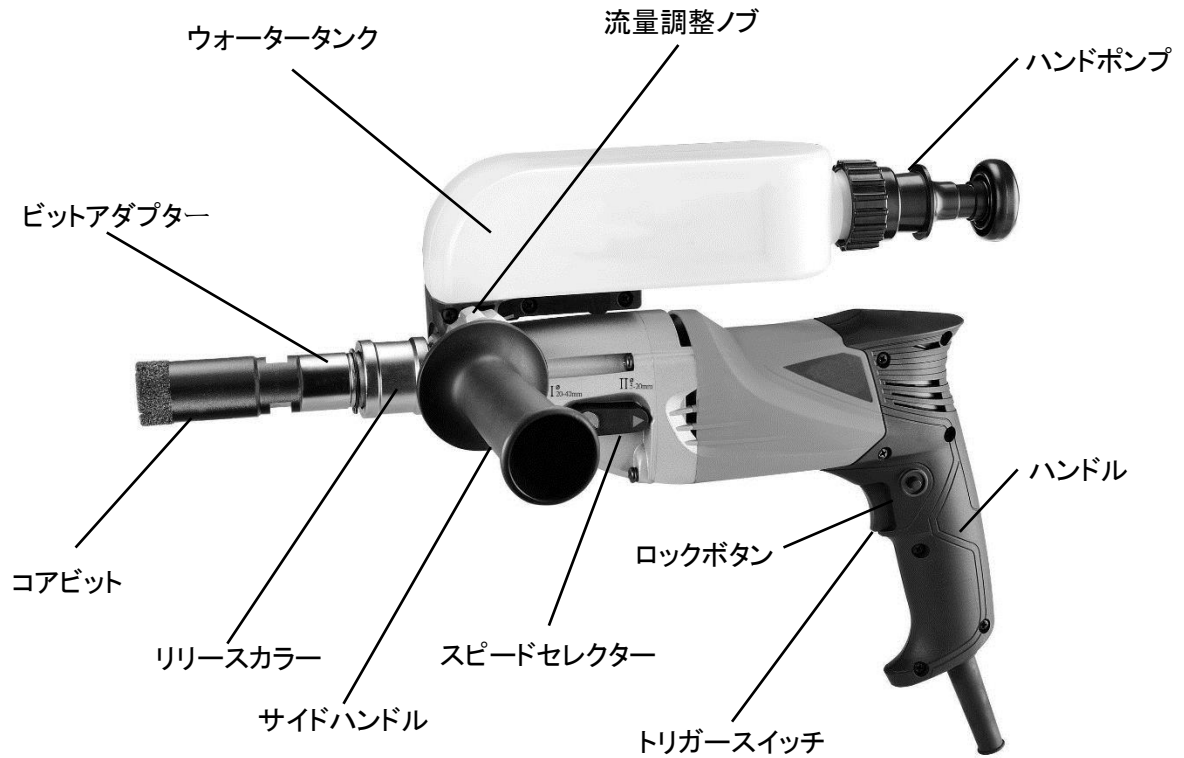
用 途

タイル、石、コンクリート、または同様の材料への穴あけ

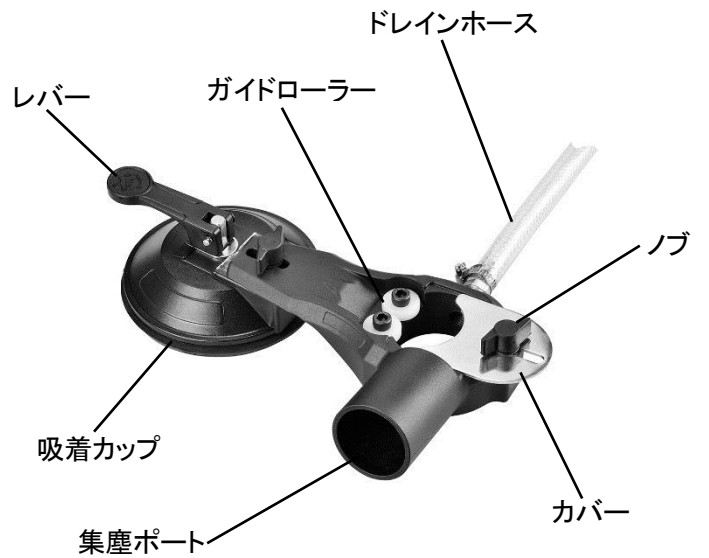
注 意

- ・能力以上の径の穿孔は、機械の故障の原因となりますので、穿孔径を必ず確認してください。

各部の名称



給水キット



吸着センタリングガイド

仕 様

型 式	CD-40T
穿 孔 能 力	40mm
取 付 ネ ジ	M14-P2.0
無 負 荷 回 転 数	SPEED I : 4,500rpm SPEED II : 7,500rpm
電 源 ・ 電 流	単相100V 50/60Hz 7.5A
外 形 寸 法 (ウォータータンク含)	348×100×300mm
質 量	2.5Kg
標 準 付 属 品	工具セット スパナ 24×27mm スパナ 19mm 六角棒レンチ 3mm サイドハンドル ウォータータンク 給水キット 吸着センタリングガイド

作業前点検

次の1～4項については、差し込みプラグを電源に差し込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめてください。

指定電圧(100V)の上下10%以内で使用し、延長コードを用いて使用する場合は電圧の低下にご注意ください。

2. スイッチが切れていることを確かめてください。

不意な始動を防ぐため、スイッチがOFFになっている事を確認してください。

3. 損傷した部品が無いかを点検してください。

コードや差し込みプラグ、スイッチといった電気部品、コアビット(刃物)やオプション品といった取付部品に損傷した部分が無いかを点検して下さい。

コアビット(刃物)および工具類は指定された純正部品を使用して下さい。

また、刃物においては新品または新品同様に破損、欠陥のないものを使用して下さい。

4. 差し込みプラグ、電源コンセントを確認してください。

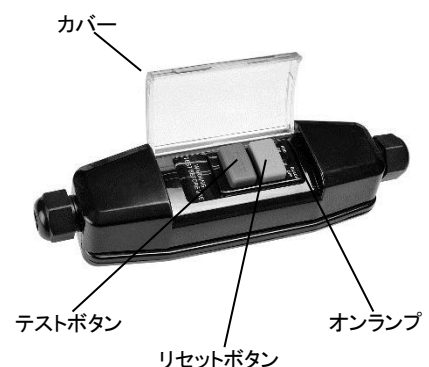
差し込みプラグを電源コンセントに差し込んだ時、ガタガタだったり、すぐ抜ける場合は使用を中止し、修理へ出してください。加熱して故障の原因となります。

5. 漏電遮断器(PRCD)の点検をしてください。

本製品のコードには漏電遮断器(PRCD)が取り付けられています。

これは感電の危険を減らすものです。取り外したりしないでください。

作業前には、漏電遮断器(PRCD)が正常に作動することを確認してください。電源コードを差した後に、リセットボタンを押してオンランプが点灯したら、テストボタンを押して切れることを確認してください。



6. 試運転をしてください。

いきなり穿孔作業を行うのではなく、一度動かして正しく動作する事を確認してください。この時、異音・火花・動作不良などの機械の異常に気がついた場合には、直ちに運転を止め、点検・修理に出してください。

ご使用方法

(1) コアビットの取り付け

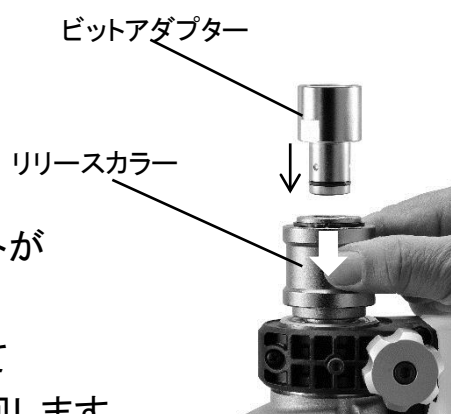
ビットをビットアダプターに取り付けます。

スパナを使用して緩みの無いように取り付けてください。

グリス等をネジ部に塗布し、アダプターとビットが固着しないようにします。

本体に取り付けるにはリリースカラーを引いてビットアダプターを嵌め、カラーが閉じるまで回します。

取り外すには、カラーを引き戻し、アダプターを真直ぐに引き抜きます。



(2) 給水キットの取り付け(給水キット使用時)

カラーを本体の先端部に取り付けて、ネジで固定します。

水道口に接続するには、カップリングにホースを取り付け、カップリングのオスとメスを嵌めこみます。

給水コックを使用して流量の調整をします。

(3) ウォータータンクの取り付け(ウォータータンク使用時)

ウォータータンクの流量調整ノブが閉じていることを確認し、タンクにきれいな水を入れ、ハンドポンプを取り付けてください。

タンクのカラー部を本体先端部に取り付けて所定の位置にネジで固定します。流量調整ノブが閉じている状態でハンドポンプを前後に動かしてタンク内の圧力を上げてください。

穿孔時は、流量調整ノブを開き、流量を必要量に調整します。

▲警告 水を補充するときには、本体からタンクを取り外してください。また、本体のモーター一部に、絶対に水が入らないようにしてください。

▲注意 ケースに保管する場合や輸送するときには、ウォータータンクを空にしてください。

▲注意 ウォータータンク内で水が凍結しないようにしてください。

▲警告 絶対にモーターに水が入らないようにしてください。感電の恐れがあります。

(4) 回転スピードの選択

ビットサイズに合わせて、2つの回転スピードを選択できます。

スピードⅠ（φ20～φ40）、スピードⅡ（φ5～φ20）と、ビットのサイズを確認し、必要に応じて切り換えてください。

スピードⅡの使用時に、ビットが停止する場合にはスピードⅠに切り換えてください。それでもビットが停止する場合には本機的能力を超えているため、使用を中止してください。

スピードセレクターの切り換え方法

スピードセレクターをストッパー部から外し、セレクターを後ろにスライドさせて低速、前にスライドさせて高速にします。

ビット部を回転させるとギアの切り換えが容易になります。

切り替えが出来たらセレクターをストッパー部に戻します。

セレクターの切り換えは、本体の動作中には絶対に行わないでください。

本体の損傷につながります。

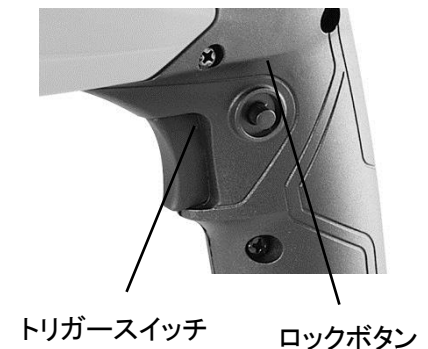


スピードセレクター

(5) スイッチ

本機は、トリガースイッチを押すことにより動作します。連続運転をする場合には、トリガースイッチを押したままでロックボタンを押すことによりトリガースイッチがロックされます。

解除する場合には、トリガースイッチを押して離すことにより解除されます。



トリガースイッチ

ロックボタン

(6) 吸着センタリングガイド

吸着センタリングガイドは、ドリルのガイド、ノロ・粉じんの収集として使用します。

平滑な施工面に吸着カップを当て、レバーを操作する(下げる)ことによりガイドを施工面に吸着させます。

施工するときはビットをガイドローラーに当てて施工してください。ブレを減少させることができます。また、カバーを調整することによりノロ等の飛散を抑えることができます。

その他、掃除機を取り付けることにより粉じんを収集することができます。



(7) 穿孔方法

①トリガースイッチを握り、本機を作動させます。

▲警告 この時、本体を両手でしっかりと持ち振り回されないようにしてください。

②回転が安定したら穿孔を開始します。その時にビットは施工面にゆっくりと当ててください。吸着センタリングガイドを使用するとブレを防ぐことができます。

手持ちの場合は、施工面に対して約30度の傾けて穿孔を開始します。

円周の3分の1ほど穿孔されたら、本体をゆっくりと垂直に立て施工します。

③穿孔時は、施工面に対して垂直に穿孔してください。曲がって穿孔した場合噛み込み等の原因となります。

▲注意 施工時に、ビットが噛み込んだ場合は、スイッチを入り切りしたり本体を揺らしたりして無理にはずそうとしないでください。モーターを損傷する可能性があります。
この場合は、レンチを使用してビットをゆっくりと回すことをお勧めします。(電源コードは抜いてください)

点検・保守



警告

・点検・保守を行う際は、必ず差し込みプラグを電源コンセントから抜いて下さい。

1. 使用後の手入れ

使用後は皮手袋をして、コアビット内部の清掃、本体に付着した水のふき取りを行ってください。

2. 各部の点検

各部の取り付けボルトが緩んでいないかを確認してください。

また、電源ケーブルに損傷が無いか、使用前には動作時に異音や異常がないことを確認してください。

3. 表面の汚れ、内部の清掃

本機の外枠にガソリン・シンナー・石油・灯油類を付着させると表面を痛めます。清掃の場合は、乾いた布、もしくは石けん水を付けた布などで拭いてください。コードは油やグリースなどによって劣化しないように、表面の汚れを乾いた布などでふき取ってください。

定期的(約50時間使用)に、モーターを無負荷で回転させながらエアを吹き込み、内部の埃を除去してください。

4. 電動工具は次のような場所に保管してください。

- ・お子様の手が届かないところ、または錠のかかる不安定でない所
- ・温度や湿度の急変しない所
- ・直射日光や雨の当たらない、湿気のない、乾いた所
- ・引火または爆発の恐れがある揮発性物質の置いていない所

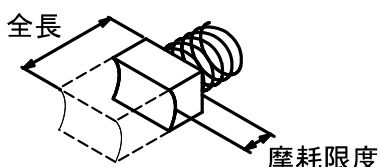
5. コアビットの点検。

・コアビットは新品同様にチップの山があり、焼けや、欠けていないかチェックをしてください。

6. カーボンブラシの交換について

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

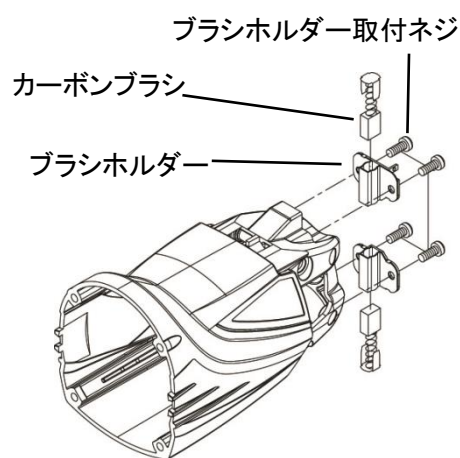
カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モーターの故障の原因になります。長さが摩耗限度(6.4mm程度)になりましたら、新品と交換してください。また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダー内で自由にすべるようにしてください。



カーボンブラシの交換の際はセットで交換します。
カーボンブラシは弊社純正品をお使いください。

カーボンブラシの交換方法

- ① ハンドル部のネジを外します(9本)
ハンドルを外した時に、ワイヤーがあるので曲げたりしないよう気を付けてください。
- ② ブラシからメス型の圧着端子を外します。
- ③ ネジを外して、ブラシホルダーを取り外します。
(ブラシはホルダーと一緒に外れます)
- ④ ブラシホルダーに新しいカーボンブラシを入れ、オス型の圧着端子の端をモーターの後ろに向け、ブラシホルダーを元の位置に固定します。
- ⑤ メス型の圧着端子をカーボンブラシに接続します。
- ⑥ もう片方のカーボンブラシも同様に交換します。
- ⑦ モーター後方から見て、右側のハンドルを元のように取付け、トリガースイッチを正しい位置に置いて、配線が挟まれないように配置します。
- ⑧ 左側のハンドルを元のように取付け、配線が挟まれないように注意し、ネジを締めつけます。
- ⑨ 以上でカーボンブラシの交換は終了です。



メ モ

購入された販売店、機械番号、使用履歴などを書き込んでおくと、問い合わせの際便利です。

ご修理の際は

IKK製品は、厳密な精度で製造されておりますが、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらずにお買い求めの販売店または下記記載の株式会社 IKK 本社もしくは各営業所などにお申しつけください。

十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となりますので取扱説明書に記載されている以外の部品の取り付け・取り外しは行わないでください。

札幌営業所	〒003-0012	北海道札幌市白石区中央二条 6-4-18
	TEL 011-865-6331	FAX 011-865-6332

仙台営業所	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東 1-2-8
	TEL 022-231-0170	FAX 022-238-9181

東京営業所	〒110-0003	東京都台東区根岸 5-13-16
	TEL 03-5824-3588	FAX 03-5824-3580

横浜営業所	〒240-0002	神奈川県横浜市保土ヶ谷区宮田町 1-3-1
	TEL 045-340-2257	FAX 045-340-2259

名古屋営業所	〒454-0869	愛知県名古屋市中川区荒子 2-128-3
	TEL 052-364-0385	FAX 052-364-0386

金沢営業所	〒920-0363	石川県金沢市古府町南 297
	TEL 076-269-2426	FAX 076-269-2436

大阪営業所	〒578-0956	大阪府東大阪市横枕西 6-23
	TEL 072-960-7707	FAX 072-960-7708

広島営業所	〒730-0844	広島県広島市中区舟入幸町 16-15
	TEL 082-503-5900	FAX 082-503-5901

福岡営業所	〒816-0912	福岡県大野城市御笠川 4-11-24
	TEL 092-504-3246	FAX 092-504-3256



本社 / 〒410-0001 静岡県沼津市足高 396-59
TEL 055-922-8811 FAX 055-922-2880

下記ホームページにて弊社最新情報をお届けしております。

<http://www.diamond-ikk.com>